

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

Serve to Change Lives



地域から行動で新しい変化を

RI会長 シェカール・メータ

2021~2022

富津中央RC会長 神子 勝美

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2653 第6回例会 2021. 10. 14 晴

点 鐘：神子勝美 会長

進 行：神子 恒 SAA

ソング：我らの生業

お客様：ガバナー補佐 鈴木壮一 様

会長挨拶

神子勝美 会長



ご安全に！！なんか、最近物忘れが多くなってきたのは、年齢のせいでしょうか。今日も出掛けに車のところについてドアを開けようとしたところ車のカギを忘れたことに気づき取りに戻ったら、一瞬何を取りに戻ったか思い出せず、少し時間が経ち思い出しました。前はこんなはずじゃなかったと思い、いらいらしても仕方ないと思うようにしています。

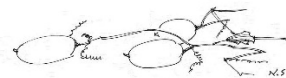
自分がベストの時の能力を「これが本当の自分だ」思いがちですが、ベストの時と比較して、そこまで達しない自分にいら立つのは気分的に良くなく、ピークの時期を「本当の自分」だと思ふことはやめて、むかし100%出来たことを、今、70%、60%しかできなくてもよいと思うようになりました。

生まれた時は赤ちゃんです。100年や200年もまえではない、赤ちゃんの時の自分も、自分で、それが、いつの間にか1人前の人間としてあれこれできるようになり、社会生活を送れるまでになった。これも自分です。やがて、物忘れが増えて、動きも以前よりは、ゆっくりになってきました。これもまた自分です。以前の自分と比べて、今の自分を責めるのはやめるようにしましょう。

私が思っていることは、「初心忘るべからず」これは単に慢心をいましめるだけのことばではなく、もっと未熟で、何一つ満足にできなかった時期を忘れないで、その気持ちがあれば、いら立ちは消えていくと思ひ、その上で、努力を忘れないことが大事だと思ひます。

今自分が出来る力で何とかしようとするところに楽しみが見つかり、今の自分を本当の自分と思えば、60%を100%と思うようにして日々生活を楽しんでいきたいと思っています。

皆さん今の自分を100%だと思ひ、前に進みましよう。



〒293-0043 富津市岩瀬 841-3

いち川旅館

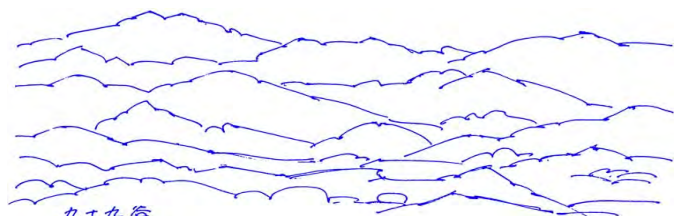
Ichikawa ryokan

841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,

293-0043

Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178

URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



九十九谷

幹事報告

岡田良弘 幹事



1. ロータリー米山記念奨学会よりハイライトよねやまを受領回覧
2. 木更津東 RC より10月、11月例会変更についてのお知らせを回覧
3. 第5グループ「情報研修会」開催のお知らせを回覧 日時:11月12日(金) 受付:12時30分 点鐘:13時30分 場所:アカデミアホール
4. 地区会員基盤向上セミナー(旧 IM)、3月11日に開催
5. 第5グループ通信を回覧

お客様の紹介

第5グループガバナー補佐 鈴木壮一様



皆様、改めましてこんにちは。第5グループを担当しております鈴木でございます。梶原ガバナーは、足繁く担当するクラブにまわる様にとということで、私も何回も来てはりきっているのではないかと、皆様ご心配されるかもしれませんけど、ガバナーからのご指示ですので、皆様ご心配なさらずにとということ、このような挨拶の席も特に必要ございませんので、お気軽にご対応していただければと思います。

先日、ボクシングのチャンピオンの村田さんが、

ライフセーバーの方のお話を引き合いに出して、引き潮の時は流れに身を任せて、いずれ陸にのぼるために呼吸を整えて準備をしていますというようなお話を聞きまして、まさに今がそういう時期かなと思いました。一昨日会長幹事会を行いまして、その中で各クラブの皆様も緊急事態があけてスムーズに例会の再開を進められているということで、大変ほっとしております。やはり皆様日頃呼吸を整えて準備をされている賜物かなと思っております。

その中で今回、環境保全プロジェクトやコロナの撲滅プロジェクトなど、合同プロジェクトということで新しい取り組みに各クラブの皆様、大変ご負担を強いられているのではないかと思います。梶原ガバナーの改革に対するひとつの取り組みということで、第5グループの皆様に関しましては、本当にほぼすべてのクラブの皆様がご協力いただいているということで梶原ガバナーからも、大変高い評価をいただいております。この場を借りて御礼申し上げます。

また、11月12日にはロータリー情報研修会ということで、今までは入会5年未満の方等を対象に行われていたのですが、今年は全会員の皆様を対象に行わせていただきたいと思っております。そこで、2590地区のファストガバナーの等々力順二さんをお招きする予定でおります。こちらの方は実は昨年の窪田さんのIMの時に、ゲストスピーカーでいらっしゃる予定だったのですが、IMがなくなりましたので、今回再度来ていただければほかの地区の取り組みと、ほかの地区から見た2790地区についてお話をいただいて、我々も研修していこうという考えで取り組んでおります。

その中で地区の委員の皆様も大変輩出しておりますので、そういう方々も是非グループの会員の皆様に地区の取り組み等もご紹介していただきながら、地区とグループの距離を縮める、また同じベクトルを向けるというような狙いを込めて予定しております。

また、3月11日に第6グループと合同でIMに代わる会員基盤向上セミナーというものを予定しております。これは合同で行いますが、今年ございました地区の再編とは全く無関係です。地区の再編について私が聞いている限りでは、グループの体制

はずっとこの8年維持していくと聞いておりますので、そちらの関係とは全く絡みなしで第6グループの皆様と合同で、どのような形になるか分かりませんが取り組んでいきたいと思っております。

なかなか人流というか交流が妨げられている中で誤解や不確かな情報で、皆様に誤解やご不満をお招きしないように、今回グループ通信というものを作りまして、皆様全グループの方だけなのですが、配布をして皆様方に地区の様子ですとか、各グループの皆様の様子などをお伝えできればということで作成いたしました。

また、富津中央様の方で行われている独自の取り組み等ございましたらご遠慮なくご連絡いただければと思います。

整いませんけれども、引き続き地区またグループへのご指導ご鞭撻お願い申し上げましてご挨拶とさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

卓話(令和3年10月14日)

『戦後70年を迎えて』の中から

—千葉県医師会雑誌2017～2021まで掲載した拙文の別印—

三枝一雄 会員



はじめに 執筆の動機:ご挨拶の頁、4項目。

1. 紀元2600年の式典挙行:

神武の創業を仰ぎ、「八紘一宇」の精神を世界に体现。侵略にあらず、世界の解放。人類の福祉と万邦の協和。(その21の3)

2. 日米対立への道:

日露戦争以後のアメリカは日本を仮想敵国とした。満州事変以来、中国へ侵攻する日本は米英の権益を害する。日独伊、三国同盟締結。米英、中国

支援(援蔣ルートを開発)。日本北部仏印さらに南部仏印へ進駐。米国、日米通商条約を廃棄。石油・屑鉄・鋼などの輸出制限。やがて鉄・石油の禁輸。(その24の1)

3. 日米首脳会談の提唱:

近衛首相、ルーズベルト大統領とのトップ会談提唱。結果破談。ルーズベルトと英首相チャーチルと大西洋上で秘密会談。蒋介石、宋美玲夫人の対日参戦熱望。米首脳側近にマルキスト。

(その25の3)

4. 東條英機宣誓供述書から(開戦への経緯)

東京裁判への供述書の抜粋。日本は国際法に違反しない自衛の戦争であり侵略にあらず、敗戦の責任我にあり。天皇擁護。戦後 GHQ(連合軍最高司令官総司令部)により、発禁第1号となる。

(その27の2)

5. ハル・ノートとは:

日本は最後通牒と受け取る。日本軍中国から撤兵・三国同盟の死文化・満州国及び南京政府否定。日露戦争で得た権益をすべてかえせとは近代国家の自殺に等しい。戦後、パル判事、モナコやルクセンブルグでも矛を持って立ち上がっただろう。(その27の3)

6. なぜアメリカは強硬手段に出たか:

アジアの植民地獲得に遅れた新興国アメリカ。満州・中国にマーケットをひろげるのに邪魔になるのは日本。対日軍備を開始。欧州戦線の緊迫。ヒトラーにフランス降伏。英国も風前の灯火。米の東海岸も危険。英国を助けるのが国益。しかし参戦は? 米国民の世論考慮。ルーズベルトの公約は戦争に自国民を送らない。ドイツは挑発に乗らない。日本は? 何とか先に手を出させたい。(その28の2)

7. 戦争観の二重性

「太平洋戦争」か「大東亜戦争」か。前者は、日本の一部軍国主義者により企てられた一方的な資源略奪、侵略、アジア征服の戦争であり、民主主義の連合国の力に敗北した。その占領下に行われた東京裁判を受け入れ、近隣諸国に謝罪し、その贖罪から平和を誓って再出発したという歴史認識。後者は資源を絶たれてやむなく立ち上がった自存自衛の

ための戦争であり、アジアにおける西洋植民地を解放し共存共栄を目指して全力で戦ったが彼我の物量の差で敗れ去った正義の戦争である認識。(歴史認識の問題・現在も近隣諸国と外交問題に発展)(その31の2)

8. 内向きの反省・外向きの反省:

大東亜戦争は、負けたことが失敗。なぜ負けたか。なぜ負ける戦争を始めたか。なぜ早くやめなかったか、国家が守るべき領土・国民の財産・生命の多くを失った責任は誰か。誰が償うのか。

<内向きの反省、自律の反省。>

太平洋戦争は、指導者の罪は軍事裁判で裁かれたことを(その是非を問わず)国際正義としてこれを認め、侵略国家として近隣諸国へ多大な迷惑を掛けたことを謝罪し、贖罪に勤めることを約束した。

<外向きの反省、他律の反省>(その31の3)

9. 現状認識とこれからの記述:

いずれにせよ、もう70年以上も前の話である。その善悪は本当はお互い様だから、水に流して仲良くしようというわけに行かないか。現在でも厳しい国際問題になる。外交・政治、配慮が必要?戦争は再びしてはならない。戦争を美化してはならない。しかし、過去を一方向的に否定し、全て罪悪だと決めつける戦争観は偏っている。敬愛するわが父、わが兄が純粋に母国を、我々を守ろうとして戦った真実を知って後の時代に伝えたい。(その31の4)

10. その後の展開

昭和16年12月8日から昭和20年8月15日までの戦闘記述。昭和20年9月2日、東京滴上の米艦ミズリー号にて降伏調印式。

追記:さらに戦後の民主化と同時に、駐留軍によって行われた言論統制、精神的武装解除ともいふべき、東京裁判、WGIP(War Guilt Information Program)等に触れて日本独立までの経過を執筆中である。

委員会報告

渡辺哲夫 親睦担当部長

・ゴルフコンペについて

ニコニコBOX

渡辺哲夫 親睦担当部長

*榎本守男 鈴木ガバナー補佐そして皆様御出席有り難とう御座居ます。

神子勝美 鈴木ガバナー補佐をお迎えして。

岡田良弘 //

相川恵津子 //

小野恒靖 三枝先生の卓話に感動致しました。

三枝一雄 卓話をさせて頂き有り難とう御居ます。誕生祝感謝して居ります。

出席報告

若鍋武良 出席担当部員

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	34/32	23	9		71.88%
前回	34/30	21	9		70.00%
前々回	34/34	23	11		67.65%

本日の昼食



お詫び

・前回の会報(No.2652)理事会報告にて、10/14卓話 三枝一雄会員の名前に誤記がございましたこと、お詫び申し上げます。